



会報

平成27年2月28日発行

発行者 大谷賢一
編集責任者
窪田則道
0142-82-3226

行政むろらん

No.147 発行所 北海道行政書士会室蘭支部

平成27年 室蘭支部 新年研修会・交礼会開催

去る1月18日、洞爺湖畔亭にて新年恒例の研修会が開催されました。研修は「国際標準化(ISOファミリー)」で、内容は製造業者や食品業者等を対象に、ISOやHACCAPといった標準化規格取得を行政書士としてサポートするための基礎知識を習得するためのものでした。研修会後は懇親会が開催され、大いに交流を深めることができました。



・研修会後の懇親会の様子

・場所を移して二次会

北海道行政書士会室蘭支部

行政書士大谷賢一事務所内

〒059-0032 登別市新生町2丁目13番地6

TEL0143-86-3360

FAX 0143-86-3330

本会の動き

日時	会議体	支部からの出席者
12月11日	第2回支部長会	大谷支部長
12月12日	第10回常任理事会	高橋理事
1月23日	第11回常任理事会	高橋理事
1月23日	賀詞交歓会(+新春業務セミナー)	大谷支部長、土井副支部長、高橋理事、甲田理事、田中理事、窪田理事
1月24日	第3回理事会	土井副支部長、高橋理事
2月13日	第13回常任理事会	高橋理事

<賀詞交歓会(1月23日)の様子>



・新春業務セミナー(テーマ:「北海道の食の安全・安心を推進する制度について」)



・賀詞交歓会(高橋知事、来賓議員、北山会長、吉村会長他)



・室蘭支部からの参加者(一部)と鈴木議員

支部の動き

支部理事会

開催なし

平成26年度くらしの無料相談会実施状況

(50音順・敬称略)

<室蘭市>

実施月	実施場所	相談員	相談件数
12月	中小企業センター	高橋・羽立	7件
1月	中小企業センター	高橋・永石	2件
2月	中小企業センター	高橋・羽立	0件

<登別市>

実施月	実施場所	相談員	相談件数
12月	鉄南ふれあいセンター	正源・安部	4件
1月	鉄南ふれあいセンター	安部・大谷	2件
2月	鉄南ふれあいセンター	大谷・安部	2/28予定

<伊達市>

実施月	実施場所	相談員	相談件数
12月	カルチャーセンター	窪田・堀	0件
1月	カルチャーセンター	窪田・堀	0件
2月	カルチャーセンター	松本・吉田	2/28予定

<洞爺湖町・豊浦町>

実施月	実施場所	相談員	相談件数
12月	洞爺湖ふれあいセンター	後藤・窪田	0件
1月	豊浦中央公民館	後藤・窪田	0件
2月	洞爺湖ふれあいセンター	後藤・堀	2件

支部研修開催状況

◆平成26年12月27日

選ばれる行政書士になる為の「伝えるマーケティング」 講師: 吉田充会員(札幌支部会員) 中小企業センター1F

◆平成27年1月18日

国際標準化(ISOファミリー) 講師: 江谷清和会員(本会業務企画部・部長) 洞爺湖畔亭

後輩行政書士が先輩事務所を訪問し、様々な観点からインタビューをさせて頂く企画の連載第七回目です。今回は白鳥台の永石先生です。それではよろしくお願ひします!!

◆行政書士になったきっかけを教えてください。

一昭和52年(1977年)に勤務していた社団法人日本自動車販売協会連合会から勧められて行政書士試験を受け1度目のチャレンジで合格しました。26歳のときです。その後事情があつて29歳で退職。職業訓練所に一年行ってから、土木の会社に勤めて、文字通り土方も経験しました。その土木会社の経営者が室蘭工業大学や大企業との共同研究を始めるようになり、行政庁も係わるようになりました。そのため、新技術開発補助金など様々な申請の仕事を命じられるようになりました。当時まだ普及していなかったワープロやコンピュータを駆使しての資料作りやソフトの開発資料を文字通り寝る間も惜しんで作成したのを覚えています。刺激的な日々でした。

でも、あまりの忙しさに体調も崩しがちでしたし、自分の時間も持てませんでしたので、資格を生かして開業するのはどうかと思い退職しました。1985年、33歳の時です。

◆最も力を入れている業務はどの分野でしょうか。具体的に教えてください。また、その業務に力を入れることになったのはなぜですか？

一開業にあたっては同じ会社にいた仲間があらゆる面で協力してくれましたし、勤務していた会社から引き続き仕事を頼みたいと依頼がありました。それで当初は、室蘭工業大学や北大との共同研究、また産官学に関連した様々な申請書類の作成に力を入れていました。他の行政書士がまったく手をつけていない分野でしたし、将来的にも面白いと思いました。

・一方で、最初から補助者を持ちましたので安定した収入源を確保する必要がありました。それで、以前勤めていた関係で自動車関連の業務を行いたいと思い、ディーラーや整備工場などに営業しました。営業にあたってはリーフレットやパンフレットを作成して持参したり送ったりしました。各種申請で慣れていましたのでパンフレットなどは体裁の良いものができたと思います。売りは、若さゆえの機動力でどんな依頼でもこなせますとといったことでした。行政書士会室蘭支部の要職にあつた先生が同行して下さったこともあり、営業の際はほとんど社長他トップと会見できました。行政書士が車庫証明を行うという行政書士会の機運が高まっていた時期だったのかもしれませんが。初年度から1,000台近い受注がありました。開業から12年目で1万台を達成しました。

・自動車関係の仕事があまりに増えて手に負えなくなった時期に、補助者と仕事を増やす道を選ぶか、小さくても自分の意のままになる道を選ぶか決めなければならぬと思いました。結局、小さく長続きする事務所経営を選択しました。

・それで、自動車の仕事が少ない時期にも対応できるように建設業、相続、贈与などに関連した基礎を一通り学ぶようにしました。中央大学法科の通信教育を受けたのもその一環です。スクーリングも良い思い出です。趣味が同じで仲の良い税理士も受けていたので、英語の虎の巻をいただいたりしました。その後自動車の仕事が増減してきましたので良い準備だったと感じています。

・現状ですが、小規模経営です。特に力を入れている分野はありません。民事関係、建設業、自動車登録などが少ないとはいえ安定して入ってきている状況です。いわばハドソン川に不時着しそうでない超低空安定飛行といったところでしょうか。

◆顧客に対応する上で大切にしていることを教えてください。

一受注した仕事を投げ出した記憶がありません。(もちろん最初か

ら歯が立たない仕事については、他の先生をお願いして下さいということがあります。)それで、モットーと言えるかどうか分かりませんが、受注した以上、難しくても最後までやり遂げるといふことかもしれません。それも適正報酬よりちょっと低めで。

◆今までに最も苦勞したことを教えてください。

一中学生3年生の時に小田実という作家の書いた『なんでも見てやろう』という本を読んで衝撃を受けました。自分もぜひ世界を見てみたい。そんなことが心の深いところにいつもありました。それで、なんとこの田舎で渉外業務をやりたいと夢のようなことを考えました。48歳の時のことです。

・これには苦勞しました。まず、渉外業務には英語だと思い独学をはじめました。なにせ高校以来英語なんてまったく触れていません。周りに英語に堪能な友人もいず、それなら家族で一年ほど外国に行つて英語を学ぼうと思いニュージーランドに的を絞りました。しかし、問題が生じて、土壇場で行けなくなりました。6年目で英検準1級をとりましたが、独学の無手勝流ですから随分周り廻り道をしたような気がします。札幌での申請取次行政書士の研修会などにもかなりの頻度で通いました。その間アメリカに2度、オーストラリアに3度、ニュージーランドに3度なども含めて海外にも結構行きました。現地ではトップエージェントに会えたと思います。第一法規や新日本法規の関連書籍にも本気で取り組みました。

・資金の穴埋めに行政書士試験の講座を行ったりもしました。北海道新聞に小さな広告を出しました。短い期間でしたが受講者が来てくれて合格者を3名出しました。

・でも、10年間、これだけの労力と気力と時間をかけてどれほどのものを得たかという、正直、なにが得られたかなあというところですか。失敗だったかもしれません。(笑)


◆失敗談とそこから得られた教訓を、差支えない範囲で教えてください。

一すでに述べたとおり、開業当初から仕事があつたこと、そして私自身の性格が外向的でないことがあり、書士会そして書士会の先生たちとの関係を重視してこなかったような気がします。自分ひとりでも仕事は確保していけるし、そうして来たとの自負のようなものがありました。それで、先生たちへの挨拶や礼儀といった面で欠けていたように思います。最近、できるだけ先生たちに近づくようにしたら、実にたくさんの方を教えていただく機会になっています。早くから自分のほうから近づいていたらもっと違った事務所経営ができたのではないかと反省しています。

◆これから活躍していく後輩へのアドバイスをお願いします。

一最近、行政書士の社会的地位と知名度が随分向上してきたと思います。注目されていますので仕事を得る面でも新しい分野に挑戦する面でも環境が整っています。ぜひ新時代の行政書士像を目指して頑張ってくださいと思います。

・今、30年前に戻れたらという構想のもとにホームページを作っています。開業当時に戻れたら、自分はこういう行政書士になりたいというものです。いつか見て下さったら私の若い行政書士に対するメッセージになりそうです。

常に勉強し続ける姿勢、新しいことに対して果敢にチャレンジし続ける姿勢の大切さを学ばせて頂きました。ご協力頂き、ありがとうございました。 

お知らせ

退会会員

◆安井 裕之 会員(昭和52年入会) 平成26年12月22日付 退会

◆小山 秀弘治 会員(平成6年入会) 平成27年1月5日付 退会

※以上 退会順

長い間お疲れ様でございました!!

研修予定

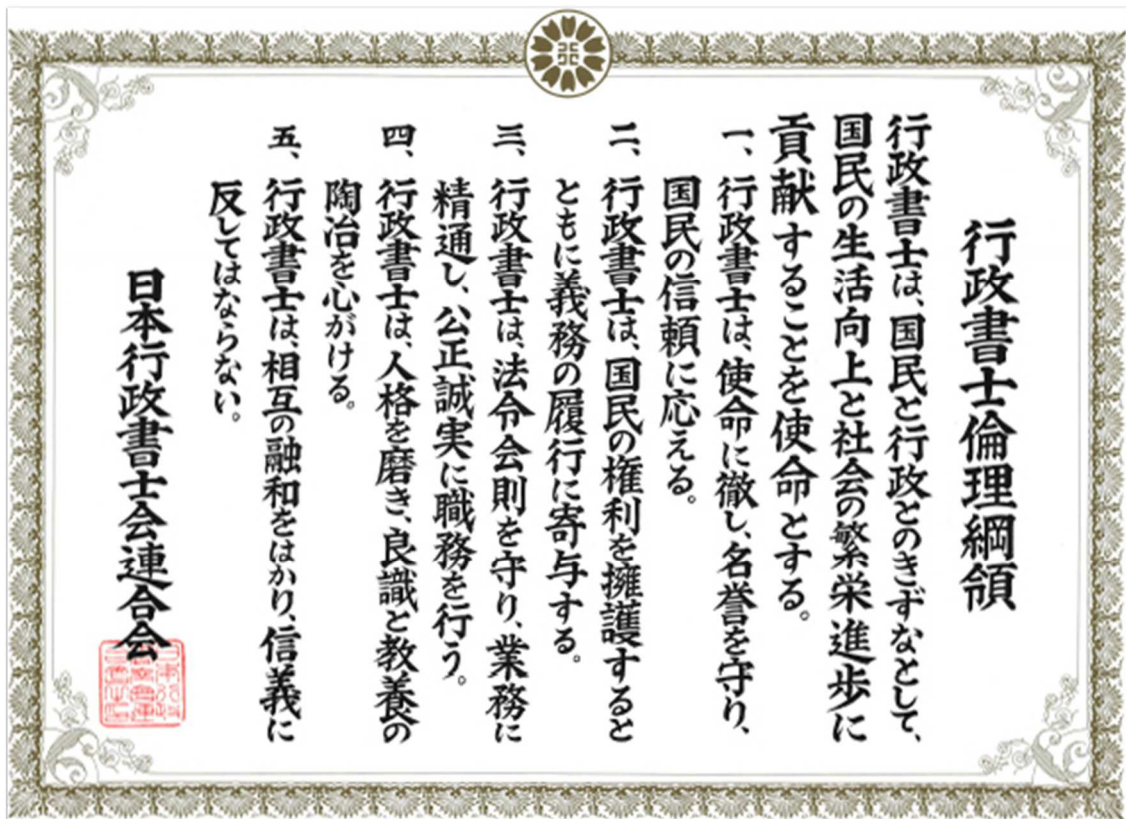
◆(仮称)建設業許可申請～建設業法改正点について～
平成27年3月下旬以降開催予定

◆(仮称)建設業決算報告書作成演習
平成27年3月下旬以降開催予定

※研修テーマが変更になる可能性があります。
※詳細は別途お知らせいたします。

理事会等予定

◆室蘭支部平成26年度・第4回理事会
平成27年3月17日(火) PM5:30より 場所:中小企業センター



【編集後記】

◆支部会報の作成を任せて頂いてから2年が経ちました。今回で「先輩事務所訪問記」企画を皆様のご協力のもとに無事終えることができました。お忙しい中ご協力いただきました先生方には心より、大変感謝申し上げます。まだまだ経験の浅い私ではありますが、会報の作成を通じて、実に様々なお話を聞かせていただき、様々なことを勉強させて頂きました。同時に、皆様のお役に立てるような紙面づくりを心がけてまいりましたが、今後会報作成の機会を与えて頂くことがありましたら、また皆様の業務に役立つ会報となるよう取り組んでいきたいと考えております。ありがとうございました。🍀